



## 1 気候変動の緩和と適応

### 温室効果ガス排出削減

#### ■ 温室効果ガス(全7ガス) 排出量(住友化学(全事業所))

(千トン-CO<sub>2</sub>e)

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	エネルギー起源	2,559	2,405	2,454	2,543	2,722	2,645	2,549	2,537
	非エネルギー起源	55	50	93	155	142	157	146	137
メタン(CH <sub>4</sub> )		—	—	—	—	—	—	—	—
亜酸化窒素(N <sub>2</sub> O)		65	45	35	23	15	20	22	22
ハイドロフルオロカーボン(HFC)		—	—	—	—	4	4	—	—
パーフルオロカーボン(PFC)		—	—	—	—	—	—	—	—
六フッ化硫黄(SF <sub>6</sub> )		—	—	—	—	—	—	—	—
三フッ化窒素(NF <sub>3</sub> )		—	—	—	—	—	—	—	—

(注)「省エネ法」「地球温暖化対策推進法」に準拠して算出



## 省エネルギー

### 2022年度 エネルギー消費原単位の内訳 (住友化学)

	a エネルギー消費量 (千kl) [原油換算]	b 生産量 (千トン) [エチレン換算]	a/b 原単位
愛媛工場	471	698	0.674
千葉工場	329	390	0.845
大阪工場	23	17	1.330
大分工場*	61	62	0.970
三沢工場	11	12	0.989
大江工場	31	168	0.183
合計	926	1,347	0.688 (2005年度比83.3%)

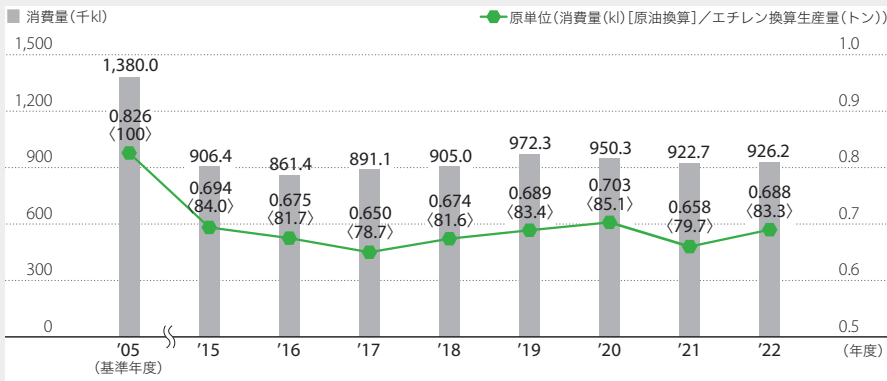
(注)・「省エネ法」「地球温暖化対策推進法」に準拠して算出

・2022年度から加わった茨城工場は対象外とする。

なお、同工場のエネルギー消費量、延床面積および原単位はそれぞれ6千kl [原油換算]、17千m<sup>2</sup>および0.343

※ 大分工場は、岐阜プラント、岡山プラントを含む

### エネルギー消費量とエネルギー消費原単位 (住友化学)



(注)・「省エネ法」「地球温暖化対策推進法」に準拠して算出

・2022年度から加わった茨城工場は対象外とする

#### 2022年度実績

2022年度のエネルギー消費量は926.2千kl [原油換算]  
エネルギー消費原単位は、前年度比4.6%悪化し、2005年度比16.7%改善

### 2022年度 エネルギー消費量およびCO<sub>2</sub>排出量 (住友化学(全事業所)および国内グループ会社)

	エネルギー消費量 (千kl-原油換算)	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量 (千トン)
住友化学	945	2,537
工場部門	932	2,513
本社、研究所などの事務所部門	13	24
住友化学および国内グループ会社	1,638	4,667
工場部門	1,607	4,613
本社、研究所などの事務所部門	31	54

(注)・「省エネ法」「地球温暖化対策推進法」に準拠して算出

・集計対象は、サステナビリティ データブック2023、[報告書のプロフィール\(P3\)](#)に記載の会社と同じ、住友化学連結売上高99.8%以内の主要な連結グループ会社



## 2 資源循環への貢献、自然資本の持続可能な利用

### 環境パフォーマンス

住友化学は、当社と国内・海外グループ会社を対象に、エネルギー、資源投入量、製品生産量、さらには大気・水域などへの環境負荷などのデータを集計し、活動量の把握に努めています。

#### ■ 2020～2022年度 環境パフォーマンス(住友化学および国内グループ会社)

##### INPUT エネルギー・資源投入



水

	(百万トン)		
	2020年度	2021年度	2022年度
工業用水	70.2	70.5	69.5
上水道	0.8	0.9	0.8
海水	884	862	763
地下水	26.8	25.5	26.3
その他	2.6	2.7	2.5
合計	984	962	863



エネルギー  
原油換算

	(千kl)		
	2020年度	2021年度	2022年度
燃料・熱・電力※1	1,767	1,801	1,634



枯渇性原材料

	(千トン)		
	2020年度	2021年度	2022年度
炭化水素系化合物	1,704	1,713	1,684
金属(レアメタル除く)※2	90.2	115	104
レアメタル※3	12.5	17.4	16.2

### PCB・フロン関連保有状況

	2020年度	2021年度	2022年度
高濃度PCB含有電機機器台数※4	11	0	0
PCB保有量(純分換算)(kl)※4	0.1	0	0
CFCを冷媒にする冷凍機台数	37	27	20
HCFCを冷媒にする冷凍機台数	255	286※5	277

(注) P3に記載の環境パフォーマンスの集計対象会社数は、年度ごとにそれぞれ以下のとおり

2020年度：住友化学および国内グループ会社 22社  
 2021年度：住友化学および国内グループ会社 23社  
 2022年度：住友化学および国内グループ会社 22社

- ※1 エネルギー(原油換算)の指標は、2017年度実績よりGHGプロトコルに基づいて(「環境・社会データ算定基準」参照)算定している
- ・GHGプロトコル基準に基づいた温室効果ガス排出量を開示したことに伴って、2017年度以降のエネルギー消費量には、従来算定に含めていなかった住友化学および国内グループ会社が外部に販売した電気や蒸気を生産するためのエネルギー使用量(ただし、エネルギー供給会社である子会社分は2016年度以前も含んでいる)を含めている。また、2017年度より住友化学の非生産拠点のエネルギー使用量を、2018年度より住友化学グループの非生産拠点のエネルギー使用量を含んでいる。2018年度からは、売上99.8%以内の主要な連結グループ会社について対象範囲を拡大して算出している
- ※2 鉄、金、銀、銅、亜鉛、アルミニウム、鉛、白金、チタン、パラジウム、ガリウム、リチウムの12金属が集計対象
- ※3 レアメタル(希少金属)のうち供給構造が極めて脆弱で、国家備蓄を行っているニッケル、クロム、タングステン、コバルト、モリブデン、マンガン、バナジウムの7金属が集計対象
- ※4 蛍光灯・水銀灯安定器、汚染物(ウエスなど)は、台数および保有量に含んでいない
- ※5 精査したため、2021年度に遡及してデータを修正



## 環境 データ編

### OUTPUT 製品の生産と環境負荷



(千トン)

	2020年度	2021年度	2022年度
生産量(エチレン換算) <sup>※1</sup>	2,526	2,613	2,413



(トン)

		2020年度	2021年度	2022年度
COD	海域・河川	874	960	825
	下水道	168	207	175
全リン	海域・河川	34.7	36.1	32.0
	下水道	4.9	5.9	6.1
全窒素	海域・河川	1,281	1,303	1,236
	下水道	48.1	68.6	47.8
PRTR法対象物質		11.7	11.1	13.3



(百万トン)

	2020年度	2021年度	2022年度
総排水量	947	920	809

(注) 総排水量には、住友共同電力株式会社の海水排水量を含め、集計



(千トン)

	2020年度	2021年度	2022年度
産業廃棄物排出量 <sup>※2</sup>	248	276	232
産業廃棄物埋立量 <sup>※2</sup>	25.1	30.7	21.9
(内訳)			
事業所内埋立	0	0	0
事業所外埋立	25.1	30.7	21.9

(注) P4に記載の環境パフォーマンスの集計対象会社数は、年度ごとにそれぞれ以下のとおり

2020年度：住友化学および国内グループ会社 22社

2021年度：住友化学および国内グループ会社 23社

2022年度：住友化学および国内グループ会社 22社

※1 生産品目によっては重量ベースでの取りまとめが困難なものがあるため、一定の条件を仮定し推算している

※2 住友化学および国内グループ会社の産業廃棄物排出量、産業廃棄物埋立量に含まれる住友共同電力株式会社の石炭灰は乾燥重量ベース



## 環境 データ編



### 大気排出

(千トン-CO<sub>2</sub>e)

	2020年度	2021年度	2022年度
温室効果ガス(全7ガス) <sup>※1</sup>	6,072	6,241	5,418
CO <sub>2</sub> (エネルギー起源)	5,312	5,435	4,639
(非エネルギー起源)	661	655	633
CH <sub>4</sub>	—	6	6
N <sub>2</sub> O	94	143	137
HFC	4	2	3
PFC	—	—	—
SF <sub>6</sub>	—	—	—
NF <sub>3</sub>	—	—	—

(トン)

### その他

	2020年度	2021年度	2022年度
NO <sub>x</sub>	4,359	3,901	3,783
SO <sub>x</sub>	4,584	3,896	3,098
ばいじん	211	173	167
PRTR法対象物質 <sup>※2</sup>	419	420	404

(注) P5に記載の環境パフォーマンスの集計対象会社数は、年度ごとにそれぞれ以下のとおり

2020年度：住友化学および国内グループ会社 22社

2021年度：住友化学および国内グループ会社 23社

2022年度：住友化学および国内グループ会社 22社

※1 温室効果ガス(全7ガス)の指標は、2017年度実績よりGHGプロトコルに基づいて(「環境・社会データ算定基準」参照)、売上99.8%以内の主要な国内連結グループ会社について算出している。

・GHGプロトコル基準では、従来算定に含めていなかった住友化学および国内グループ会社が外部に販売したエネルギー起源のCO<sub>2</sub>排出量(ただし、エネルギー供給会社である子会社分は2016年度以前も含んでいる)、住友化学の非生産拠点のエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量および「地球温暖化対策推進法」算定対象外の非エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量を含んでいる。2018年度より住友化学グループの非生産拠点のエネルギー使用量を含んでいる

※2 PRTR法に定める対象物質ごとの大気排出量および公共用水域排出量の数値を使用

## ■ 環境法規制の遵守

(円)

	2020年度	2021年度	2022年度
罰金総計	0	0	0

(注) 集計対象は、住友化学および国内グループ会社

【国内グループ会社21社生産工場】

(住化加工紙株式会社、住化カラー株式会社、住化プラスチック株式会社、日本エイアンドエル株式会社、朝日化学工業株式会社、株式会社セラテック、住化アッセンブリーテクノ株式会社、サンテラ株式会社、住化アグロ製造株式会社、住化エンパイロメンタルサイエンス株式会社、住化農業資材株式会社、住化ポリカーボネート株式会社、日本メジフィジックス株式会社、住友共同電力株式会社、広栄化学株式会社、田岡化学工業株式会社、株式会社田中化学研究所、住友ファーマ株式会社、エスエヌ化成株式会社、株式会社サンリッツ、住化宏和テック株式会社)



## 環境会計による環境保全コストと経済効果の評価

住友化学は、環境保全に関わる投資・費用と効果を定量的・継続的に把握し、それを適切に評価する「環境会計」を2000年度から導入しています。

### ◆ 環境会計のポイント

- ① 対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日
- ② 集計範囲：住友化学および主要な連結子会社21社（国内16社、海外5社）※
- ③ 構成（分類）：環境省のガイドラインを参考
- ④ 結果の概要（投資額・費用額）：連結での投資額、費用額は、それぞれ前年度比50億円増加し、56億円の増加となりました。

※ 住友ファーマ株式会社、広栄化学株式会社、岡岡化学工業株式会社、朝日化学工業株式会社、住友共同電力株式会社、住化カラー株式会社、日本メジフィジックス株式会社、日本エイアンドエル株式会社、サンテラ株式会社、住化加工紙株式会社、住化農業資材株式会社、株式会社セラテック、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社、エスエヌ化成株式会社、住化アグロ製造株式会社、住化プラスチック株式会社、Dongwoo Fine-Chem Co., Ltd.、Sumitomo Chemical Asia Pte Ltd、The Polyolefin Company (Singapore) Pte. Ltd.、Sumika Technology Co., Ltd.、Sumika Electronic Materials (Wuxi) Co., Ltd.

### ■ 環境保全コスト

(億円)

分類	主な取り組み内容	2021年度				2022年度			
		単体		連結		単体		連結	
		投資額	費用額	投資額	費用額	投資額	費用額	投資額	費用額
事業所エリア内コスト		10	201	25	327	42	238	73	368
内訳	環境対策コスト	(7)	(144)	(17)	(193)	(10)	(178)	(34)	(231)
	地球環境保全コスト	(0)	(1)	(3)	(39)	(0)	(3)	(4)	(43)
	資源循環コスト	(3)	(56)	(5)	(95)	(32)	(58)	(35)	(95)
上・下流コスト		0	0	0	5	0	1	0	4
管理活動コスト		0	8	0	15	0	9	0	15
研究開発コスト		0	80	0	82	1	95	1	97
社会活動コスト		0	5	0	8	0	4	0	9
環境損傷コスト		0	0	0	0	0	0	0	0
合計		10	294	25	437	43	347	75	493

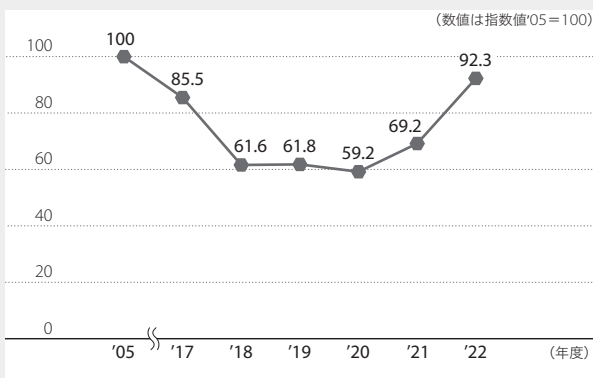


■ 経済効果

(億円)

効果の内容	2021年度		2022年度	
	単体	連結	単体	連結
省エネルギーによる費用削減	4	5	1	2
省資源による費用削減	7	9	4	7
リサイクル活動による費用削減	41	45	40	45
合計	52	59	45	55

■ 環境保全費用効率の推移(住友化学(全事業所))



2005年度から「費用対効果の追求による環境保全費用の効率の改善」の検討に着手しています。環境保全費用の内訳を解析・評価するとともに、重要度についても検討を加え、より効率的な取り組みを実現していきたいと考えています。なお、生産活動の実態をより反映させるため、「環境保全の取り組みに要する総費用額あたりの年間総生産高」の指標を環境保全費用効率として採用しています。

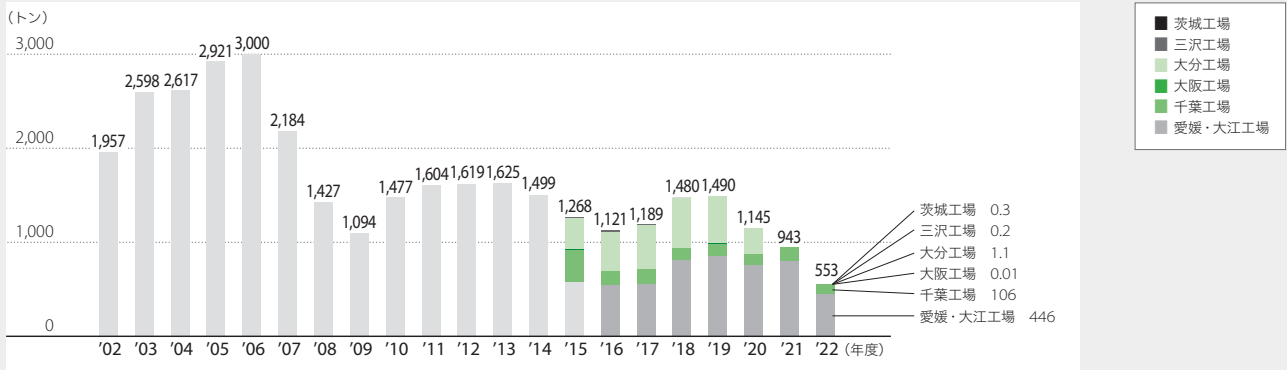


### 公害防止 SOx、NOx、ばいじんの大気排出量

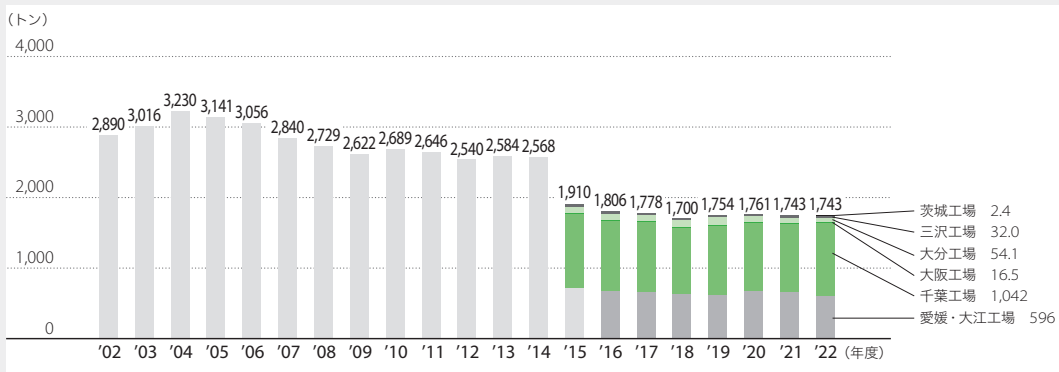
SOx、NOx、ばいじんの大気排出は、1970年以降大幅な削減を達成し、80年以降、現在まで低水準の排出量を維持しています。また、各工場では、法による規制よりも厳しい協定値を自治体と締結し、この値を自主管理基準値としています。

(注) 岐阜プラント、岡山プラントのデータは2004～2012年度は大阪工場に、2013年度以降は大分工場を含む

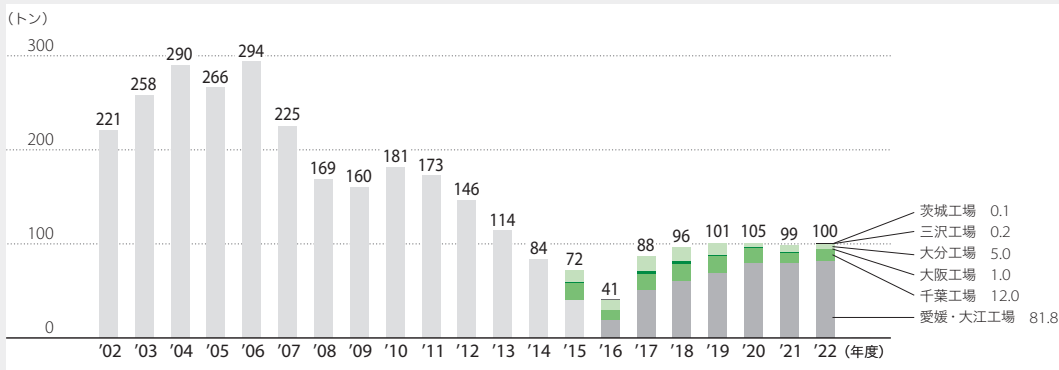
#### ■ SOx排出量 (住友化学)



#### ■ NOx排出量 (住友化学)



#### ■ ばいじん排出量 (住友化学)



目標

自主管理基準値以下の維持・継続に努める



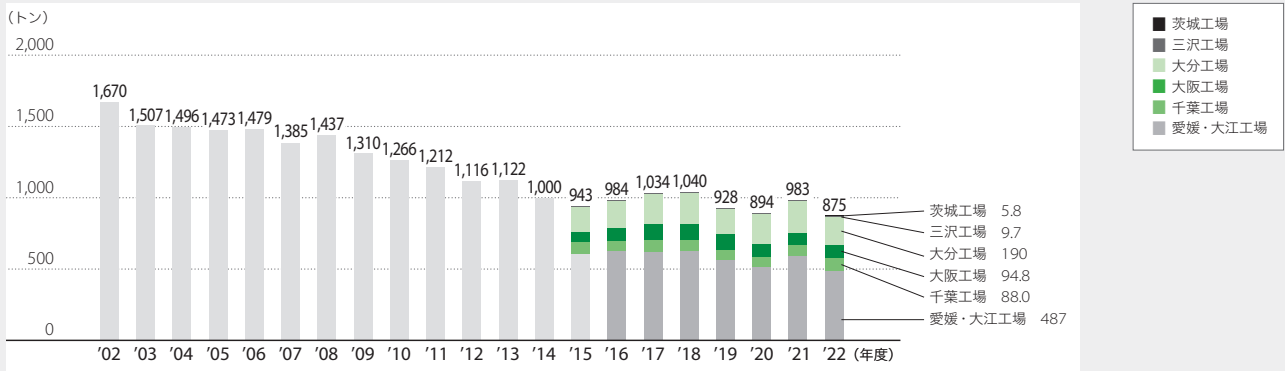


### COD、窒素、リンの水域排出量

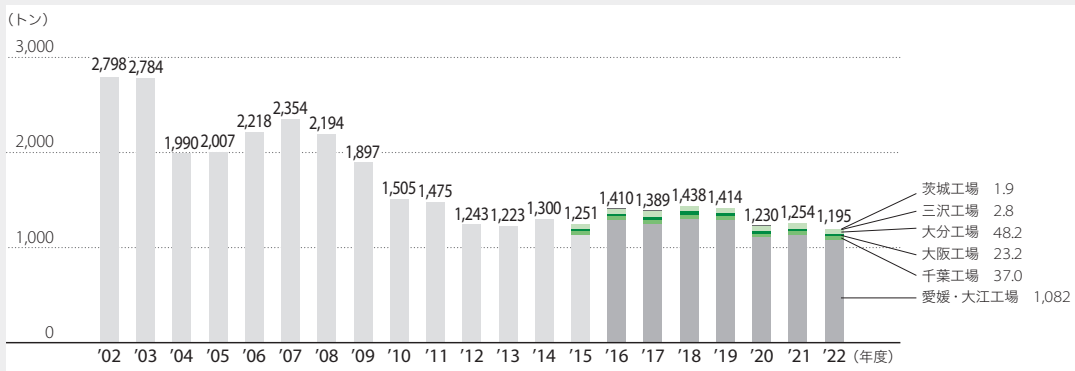
COD、窒素、リンの水域排出は、第5次水質総量規制を踏まえた排出削減諸施策の実施により、2004年度以降、大きく削減しています。また、各工場では、法による規制よりも厳しい協定値を自治体と締結し、この値を自主管理基準値としています。

(注) 岐阜プラント、岡山プラントのデータは 2004～2012年度は大阪工場に、2013年度以降は大分工場に含む

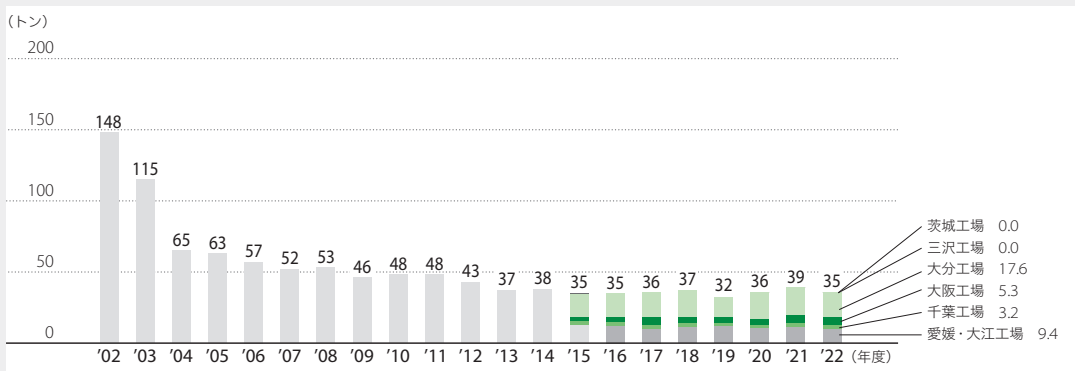
#### COD排出量 (水域排出は下水道への排水を含む) (住友化学)



#### 全窒素排出量 (住友化学)



#### 全リン排出量 (住友化学)



目標

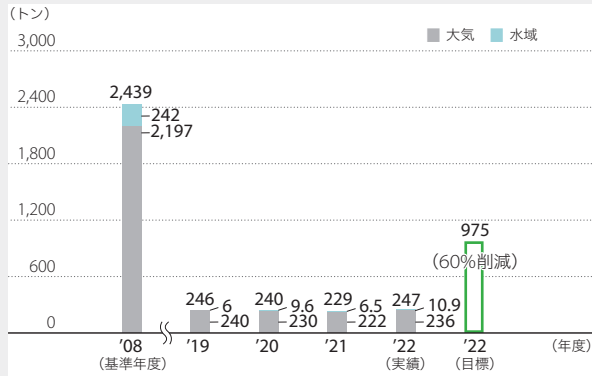
自主管理基準値以下の維持・継続に努める



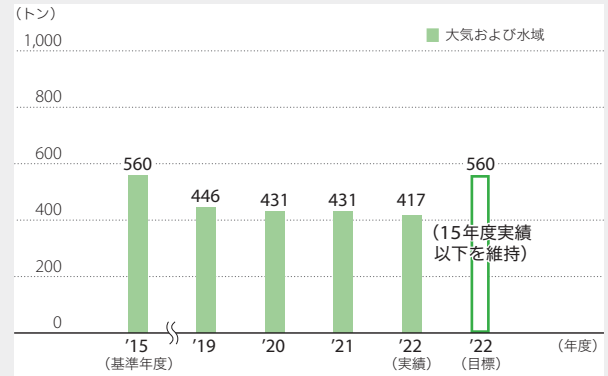
## PRTR、VOC対応

### PRTR法対象物質排出量の推移

#### 住友化学



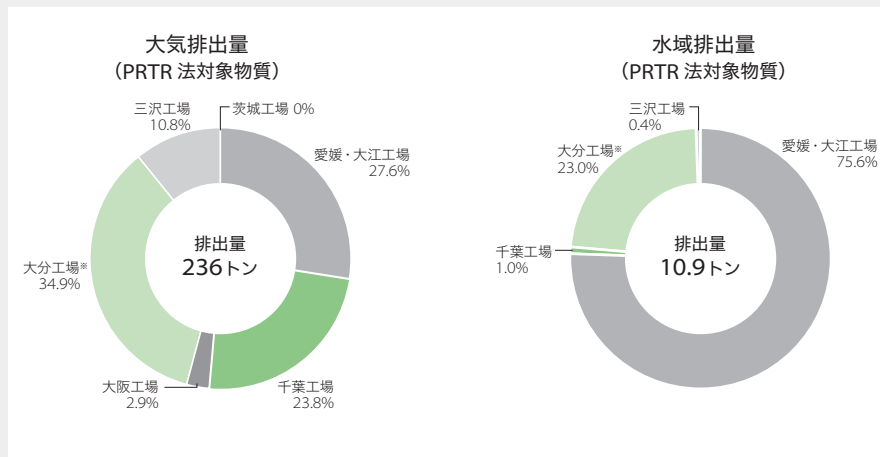
#### 住友化学および国内グループ会社



### 2022年度 PRTR調査物質の排出・移動量の内訳 (住友化学および国内グループ会社)

	排出量			移動量		
	大気	水域	小計	下水道	廃棄	小計
PRTR法対象物質						
住友化学 (125 物質)	236	10.9	247	4.2	4,479	4,483
住友化学および国内グループ会社	404	13.3	417	6.7	6,395	6,402

### 2022年度 PRTR法対象物質の排出量の工場別内訳 (住友化学)

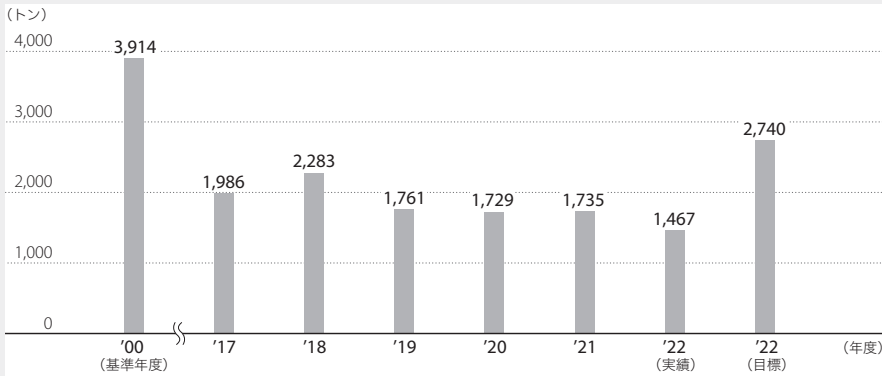


※ 大分工場は岐阜プラント、岡山プラントを含む

<b>目標</b>	2022年度の総排出量を2008年度比60%削減
<b>実績</b>	2022年度の総排出量は2008年度比89.9%削減の247トンとなり、目標を達成



■ VOC (揮発性有機化合物) 排出削減の取り組み(住友化学)



目標

VOC排出量は2000年度比30%削減を維持

実績

2022年度の排出量は2000年度比62.5%削減の1,467トンとなり、目標を達成

オゾン層破壊防止

■ CFCおよびHCFC冷凍機の管理状況(住友化学および国内グループ会社) 2022年度末

(台)

	住友化学	住友化学および国内グループ会社
CFC11	5	5
CFC12	1	13
CFC13	0	0
CFC115	2	2
HCFC22	47	246
HCFC123	24	31

目標

- ・CFCを冷媒とする冷凍機の使用を2025年度までに全廃
- ・HCFCを冷媒とする冷凍機の使用を2045年度までに全廃



PRTR対応 (PRTR法施行令 (2008年11月21日公布) 対応)

(トン)[ダイオキシン類のみmg-TEQ]

No. 化学物質名	排出量					移動量		
	大気	水域	土壌	埋立	総計	下水道	廃棄物	総計
1 亜鉛の水溶性化合物	0.0	6.2	0.0	0.0	6.2	<0.1	139.7	139.8
2 アクリル酸およびその水溶性塩	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0
3 アクリル酸メチル	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	<0.1	<0.1
4 アクリロニトリル	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
5 アクロレイン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 アセトアルデヒド	<0.1	<0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
7 アセトニトリル	3.5	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	64.4	64.4
8 オルト-アニシジン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9 アニリン	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	28.7	28.7
10 2-アミノエタノール	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	33.8	33.8
11 メタ-アミノフェノール	0.0	<0.1	0.0	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0
12 アリルアルコール	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0
13 アンチモンおよびその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14 イソブチルアルデヒド	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
15 エタンチオール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
16 O-エチル=O-(6-ニトロ-メタ-トリル)= セカンダリーブチルホスホルアミドチオアート (別名: プタミホス)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
17 O-エチル=O-4-ニトロフェニル=フェニルホスホノチオアート(別名: EPN)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18 2-エチルヘキサン酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
19 エチルベンゼン	6.1	<0.1	0.0	0.0	6.1	<0.1	64.3	64.4
20 エチレンジアミン四酢酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21 エピクロロヒドリン	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
22 1,2-エポキシプロパン(別名: 酸化プロピレン)	0.0	<0.1	0.0	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0
23 塩化第二鉄	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24 カドミウムおよびその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
25 イブシロン-カプロラクタム	0.2	0.7	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0
26 キシレン	5.0	<0.1	0.0	0.0	5.1	<0.1	57.1	57.2
27 キノリン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
28 クメン	3.2	<0.1	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0
29 クレゾール	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0
30 クロムおよび三価クロム化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
31 六価クロム化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
32 クロロ酢酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
33 クロロジフルオロメタン(別名: HCFC-22)	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0
34 2-クロロ-4,6-ビス(エチルアミノ)-1,3,5-トリアジン (別名: シマジンまたはCAT)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
35 3-クロロプロペン(別名: 塩化アリル)	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	17.8	17.8
36 クロロベンゼン	2.8	<0.1	0.0	0.0	2.8	0.0	132.8	132.8
37 クロロホルム	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	<0.1	218.4	218.4
38 コバルトおよびその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
39 酢酸ビニル	14.7	<0.1	0.0	0.0	14.7	0.0	0.0	0.0
40 サリチルアルデヒド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
41 (RS)-アルファ-シアノ-3-フェノキシベンジル=2,2,3,3-テトラメチルシクロ プロパンカルボキシレート(別名: フェンプロパトリン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
42 無機シアン化合物(錯塩およびシアン酸塩を除く)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
43 N,N-ジエチルチオカルバミン酸S-4-クロロベンジル (別名: チオベンカルブまたはベンチオカーブ)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1



環境 データ編

(トン)[ダイオキシン類のみmg-TEQ]

No. 化学物質名	排出量					移動量		
	大気	水域	土壌	埋立	総計	下水道	廃棄物	総計
44 四塩化炭素	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
45 1,4-ジオキサソ	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	<0.1	134.0	134.0
46 シクロヘキサ-1-エン-1,2-ジカルボキシイミドメチル=(1RS)-シス-トランス-2,2-ジメチル-3-(2-メチルプロパ-1-エニル)シクロプロパンカルボキシラート(別名: テトラメトリン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
47 シクロヘキシルアミン	0.0	<0.1	0.0	0.0	<0.1	0.0	2.8	2.8
48 1,2-ジクロロエタン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1
49 1,1-ジクロロエチレン(別名: 塩化ビニリデン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
50 シス-1,2-ジクロロエチレン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
51 ジクロロジフルオロメタン(別名: CFC-12)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
52 2,2-ジクロロ-1,1,1-トリフルオロエタン(別名: HCFC-123)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
53 1,2-ジクロロプロパン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	426.0	426.0
54 1,3-ジクロロプロペン(別名: D-D)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
55 ジクロロベンゼン	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	104.3	104.3
56 ジクロロメタン(別名: 塩化メチレン)	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	57.4	57.4
57 ジシクロペンタジエン	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	6.8	6.8
58 2,4-ジニトロフェノール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.2	34.2
59 1,3-ジフェニルguanazin	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	8.9	8.9
60 2,6-ジ-ターシャリ-ブチル-4-クレゾール(別名: BHT)	0.0	<0.1	0.0	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0
61 N,N-ジメチルアセトアミド	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	7.9	7.9
62 2,4-ジメチルアニリン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4
63 N,N-ジメチルアニリン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
64 ジメチルアミン	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
65 N,N-ジメチルホルムアミド	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	47.1	47.1
66 臭素	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
67 水銀およびその化合物	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	<0.1	0.0	<0.1
68 スチレン	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0
69 セレンおよびその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
70 ダイオキシン類	<0.1	<0.1	0.0	0.0	<0.1	<0.1	0.0	<0.1
71 チオリ酸O,O'-ジメチル-O-(3-メチル-4ニトロフェニル)(別名: フェニトロチオンまたはMEP)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4
72 テトラクロロエチレン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
73 テトラメチルチウラムジスルフィド(別名: チウラムまたはチラム)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
74 テレフタル酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	369.8	369.8
75 銅水溶性塩(錯塩を除く)	0.0	<0.1	0.0	0.0	<0.1	<0.1	0.5	0.5
76 トリエチルアミン	0.9	0.2	0.0	0.0	1.1	0.7	30.6	31.3
77 1,1,1-トリクロロエタン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
78 1,1,2-トリクロロエタン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
79 トリクロロエチレン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
80 2,4,6-トリクロロ-1,3,5-トリアジン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
81 1,2,3-トリクロロプロパン	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	18.1	18.1
82 1,2,4-トリメチルベンゼン	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0
83 トルイジン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2
84 トルエン	134.0	0.2	0.6	0.0	134.7	0.4	2,265.5	2,265.9
85 ナフタレン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
86 鉛化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
87 ニッケル化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9
88 ニトロベンゼン	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	39.9	39.9
89 バナジウム化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
90 ヒ素およびその無機化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.1	0.1
91 ヒドラジン	0.1	<0.1	0.0	0.0	0.2	0.0	1.1	1.1



環境 データ編

(トン)[ダイオキシン類のみmg-TEQ]

No. 化学物質名	排出量					移動量		
	大気	水域	土壌	埋立	総計	下水道	廃棄物	総計
92 ヒドロキノン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
93 4-ビニル-1-シクロヘキセン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
94 ビフェニル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
95 ビリジン	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	6.6	6.6
96 フェニレンジアミン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
97 1,3-ブタジエン	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
98 フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
99 ターシャリーブチル=ヒドロペルオキシド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
100 2-ターシャリーブチル-5-メチルフェノール	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
101 ぶつ化水素およびその水溶性塩	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.7	0.8
102 2-プロピン-1-オール	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0
103 2-プロモプロパン	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	7.4	7.4
104 ヘキサデシルトリメチルアンモニウム=クロリド	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0
105 ノルマルヘキサン	36.3	<0.1	0.0	0.0	36.3	0.0	104.9	104.9
106 ペルオキシ二硫酸の水溶性塩	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
107 ベンジル=クロリド(別名:塩化ベンジル)	<0.1	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0
108 ベンズアルデヒド	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	<0.1
109 ベンゼン	0.3	0.2	0.0	0.0	0.5	<0.1	0.0	<0.1
110 ほう素化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
111 ポリ塩化ビフェニル(別名:PCB)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
112 ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのものおよびその混合物に限る)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
113 ホルムアルデヒド	0.4	<0.1	0.0	0.0	0.4	2.7	2.8	5.5
114 マンガンおよびその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	0.0	<0.1
115 無水フタル酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
116 無水マレイン酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	<0.1
117 メタクリル酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<0.1	<0.1
118 メタクリル酸2,3-エポキシプロピル	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0
119 メタクリル酸メチル	8.8	0.0	0.0	0.0	8.8	0.0	40.8	40.8
120 (Z)-2'-メチルアセトフェノン=4,6-ジメチル-2-ピリミジニルヒドラゾン(別名:フェリムゾン)	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
121 メチルアミン	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
122 3-メチルチオプロパナール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
123 メチルナフタレン	1.8	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0
124 モルホリン	0.0	<0.1	0.0	0.0	<0.1	0.0	0.0	0.0
125 りん酸トリフェニル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	236	10.9	0.6	0.0	247	4.2	4,484	4,488



## 産業廃棄物削減

### ■ PCBの回収・保管・処理 (住友化学および国内グループ会社)

高濃度PCB廃棄物の管理状況 2022年度末

	PCB廃棄物台数			PCB量 (kl)
	計	保管	使用	
住友化学	0	0	0	0
住友化学および国内グループ会社	0	0	0	0

(注) PCB量 (PCB純分換算量)に微量PCB廃棄物分は含まず  
また、蛍光灯・水銀灯安定器、汚染物 (ウエスなど)に分類される高濃度PCB廃棄物は集計の対象外

#### 目標

高濃度PCB廃棄物の適正な回収・保管に努め、早期に処理を完了

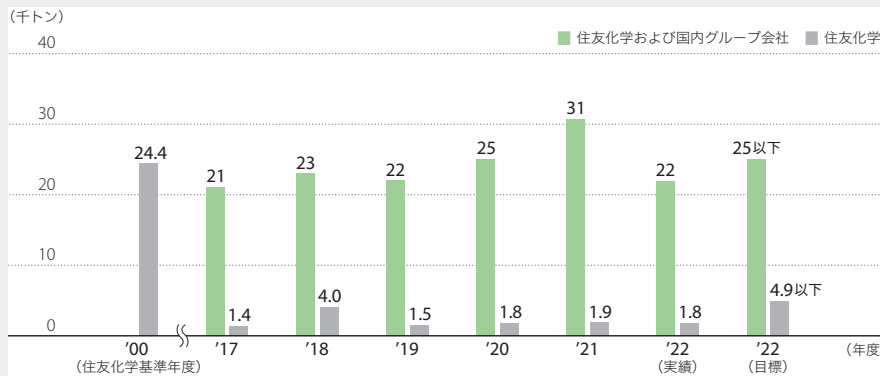
#### 実績

住友化学：2020年度末で保管、使用していた高濃度PCB廃棄物処理を完了  
国内グループ会社：2021年度末で保管、使用していた高濃度PCB廃棄物の処理は完了

「PCB特別措置法」に基づき、保有する高濃度PCB廃棄物\*を適正に回収し、特別管理産業廃棄物として倉庫内に保管場所を定め、厳重に保管しています。住友化学では、これらのPCB廃棄物について同法が定めた処理期限を前倒して、全数の処理を完了しました。

\* 変圧器、コンデンサなどの絶縁油にPCBを使用する電気機器

### ■ 廃棄物埋立量 (住友化学および国内グループ会社)



#### 目標

住友化学は、2000年度の埋立量実績から80%削減の4.9千トン、住友化学および国内グループ会社としては2020年度の埋立量実績の25千トンの以下の水準を維持

#### 実績

住友化学、住友化学および国内グループ会社ともに目標達成

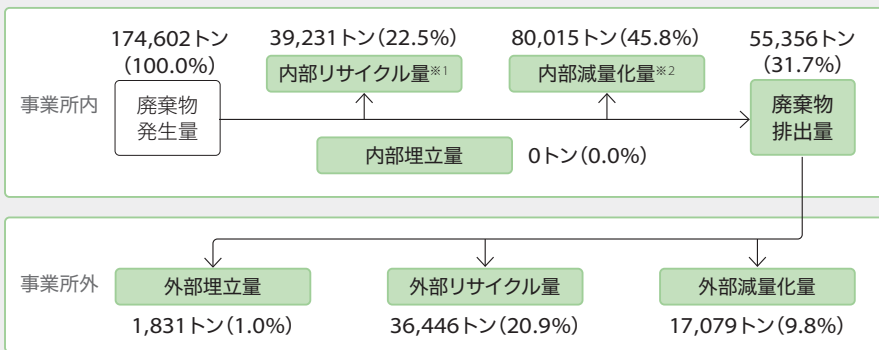


■ 廃棄物処理法の産業廃棄物管理票（マニフェスト）の電子化（住友化学）

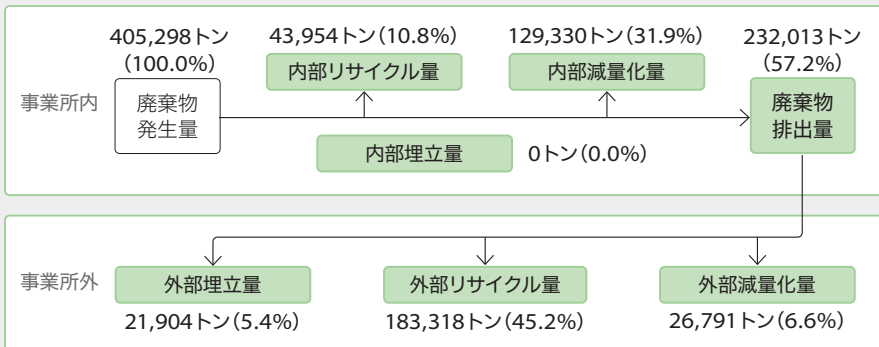
	データ交付数 (枚)	データ電子化数 (枚)	電子化率 (%)
2015年度	18,973	16,337	86
2016年度	19,868	19,594	99
2017年度	19,858	19,585	99
2018年度	20,598	20,355	99
2019年度	19,835	19,726	99
2020年度	20,735	20,675	99
2021年度	23,027	22,961	99
2022年度	22,196	22,179	99

事務の効率化、コンプライアンスの徹底、さらにはデータの透明性といった観点からマニフェストの電子化を推進しています。

■ 廃棄物処理フローと2022年度実績  
（住友化学）



（住友化学および国内グループ会社）



(注) 住友化学および国内グループ会社の廃棄物発生量は、海外グループ会社を含むグループ全体の約80%

※1 リサイクル量：再使用、再利用もしくは熱回収された廃棄物の総量

※2 減量化量：焼却などで減量化された廃棄物の総量





## 環境 データ編

■ 廃棄物処理に係る品目別処分2022年度実績一覧表  
(住友化学)

(トン)

種類	廃棄物発生量	内部リサイクル量		内部減量化量		廃棄物排出量	内部埋立量	外部減量化量	外部リサイクル量		外部埋立量
		再使用・再利用	熱回収	焼却	その他				再使用・再利用	熱回収	
燃え殻	5,408.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5,408.7	0.0	0.0	4,826.4	0.0	582.3
汚泥	50,395.1	3.4	11,015.5	20,404.6	2,826.9	16,144.8	0.0	2,731.1	11,775.2	1,376.5	262.1
廃油	40,794.0	4,508.5	10,913.7	12,396.0	0.0	12,975.8	0.0	4,572.8	7,087.8	1,179.8	135.1
廃酸	8,491.4	0.0	1.7	5,366.5	1,046.1	2,077.1	0.0	1,801.3	131.4	99.6	44.9
廃アルカリ	60,048.0	12,394.6	17.7	24,053.3	12,354.0	11,228.4	0.0	6,480.2	3,365.0	1,244.1	139.1
廃プラスチック類	5,406.6	0.0	320.8	636.5	0.0	4,449.3	0.0	466.1	3,316.9	270.1	396.2
紙くず	992.6	0.0	54.8	808.3	0.0	129.4	0.0	9.9	119.4	0.0	0.1
木くず	947.3	0.0	0.0	122.7	0.0	824.6	0.0	64.6	518.4	226.7	14.9
繊維くず	14.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.7	0.0	12.5	2.0	0.0	0.2
動植物性残渣	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	0.0	11.5	0.0	0.0	0.0
金属くず	781.5	0.0	0.0	0.3	0.0	781.2	0.0	159.9	604.8	0.0	16.5
ガラス・陶磁器くず	442.5	0.0	0.0	0.0	0.0	442.5	0.0	110.6	262.8	38.8	30.3
鉱さい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
がれき類	842.0	0.0	0.0	0.0	0.0	842.0	0.0	658.8	0.0	0.0	183.2
ばいじん	26.1	0.0	0.0	0.0	0.0	26.1	0.0	0.0	0.0	0.0	26.1
合計	174,602.1	16,906.4	22,324.2	63,788.2	16,227.0	55,356.1	0.0	17,079.3	32,010.1	4,435.6	1,831.1

(住友化学および国内グループ会社)

(トン)

種類	廃棄物発生量	内部リサイクル量		内部減量化量		廃棄物排出量	内部埋立量	外部減量化量	外部リサイクル量		外部埋立量
		再使用・再利用	熱回収	焼却	その他				再使用・再利用	熱回収	
燃え殻	14,195.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14,195.9	0.0	0.0	10,816.6	2.5	3,376.8
汚泥	94,228.9	3.4	11,015.5	20,404.6	39,693.7	23,111.8	0.0	6,639.4	13,101.2	1,611.5	1,759.6
廃油	48,654.8	4,524.0	15,621.8	12,396.0	0.0	16,113.1	0.0	3,993.6	7,750.9	4,197.3	170.9
廃酸	10,512.7	0.0	1.7	5,366.5	1,046.1	4,098.4	0.0	3,110.8	329.0	573.6	85.0
廃アルカリ	82,340.6	12,394.6	17.7	36,501.3	12,354.0	21,073.0	0.0	10,748.8	7,535.4	2,503.9	284.8
廃プラスチック類	9,414.7	0.0	320.8	636.5	0.0	8,457.5	0.0	1,116.4	5,569.0	687.7	1,084.4
紙くず	1,893.5	0.0	54.8	808.3	0.0	1,030.3	0.0	96.3	930.2	0.8	3.1
木くず	1,311.1	0.0	0.0	122.7	0.0	1,188.4	0.0	100.0	790.2	279.2	19.1
繊維くず	14.7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.7	0.0	12.5	2.0	0.0	0.2
動植物性残渣	18.6	0.0	0.0	0.0	0.0	18.6	0.0	14.7	0.0	3.8	0.1
金属くず	875.2	0.0	0.0	0.3	0.0	874.9	0.0	180.8	671.0	1.6	21.6
ガラス・陶磁器くず	485.6	0.0	0.0	0.0	0.0	485.6	0.0	118.3	278.0	40.7	48.4
鉱さい	114.6	0.0	0.0	0.0	0.0	114.6	0.0	0.0	0.0	0.0	114.6
がれき類	1,213.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1,213.5	0.0	658.9	0.0	0.0	554.7
ばいじん	140,023.1	0.0	0.0	0.0	0.0	140,023.1	0.0	0.0	125,642.0	0.0	14,381.1
合計	405,297.6	16,921.9	27,032.3	76,236.2	53,093.8	232,013.3	0.0	26,790.6	173,415.5	9,902.7	21,904.5



# 環境 データ編

## 2022年度 有害廃棄物※・非有害廃棄物の区分 (住友化学)

(トン)

種類	廃棄物発生量	内部リサイクル量		内部減量化量		廃棄物排出量	内部埋立量	外部減量化量	外部リサイクル量		外部埋立量
		再使用・再利用	熱回収	焼却	その他				再使用・再利用	熱回収	
非有害廃棄物	65,269	3	11,391	21,972	2,827	29,075	0	4,225	21,426	1,912	1,512
有害廃棄物	109,334	16,903	10,933	41,816	13,400	26,281	0	12,854	10,584	2,523	319

## (住友化学および国内グループ会社)

(トン)

種類	廃棄物発生量	内部リサイクル量		内部減量化量		廃棄物排出量	内部埋立量	外部減量化量	外部リサイクル量		外部埋立量
		再使用・再利用	熱回収	焼却	その他				再使用・再利用	熱回収	
非有害廃棄物	263,789	3	11,391	21,972	39,694	190,729	0	8,937	157,800	2,628	21,364
有害廃棄物	141,508	16,919	15,641	54,264	13,400	41,284	0	17,853	15,615	7,275	541

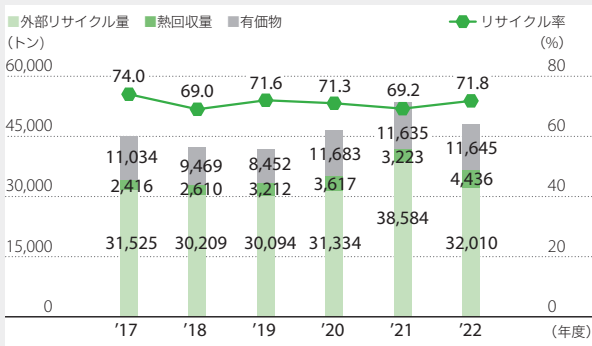
※ 廃油(廃有機溶媒を含む)、廃アルカリ、廃酸

## 廃棄物、廃プラスチックの再資源化、再利用化の取り組み

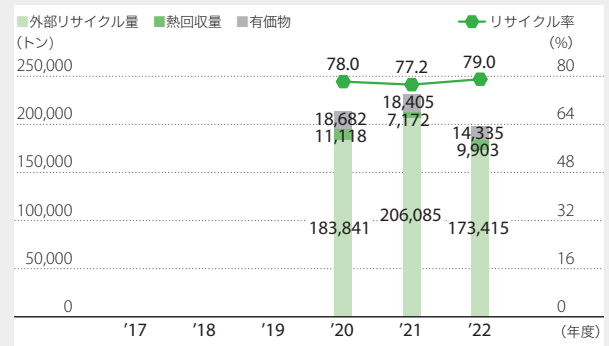
住友化学では、廃棄物、廃プラスチックの再資源化、再利用化に積極的に取り組んでいます。

### 廃棄物全体の再資源化、再利用化(有価物、熱回収を含む)の実績※1

#### 住友化学

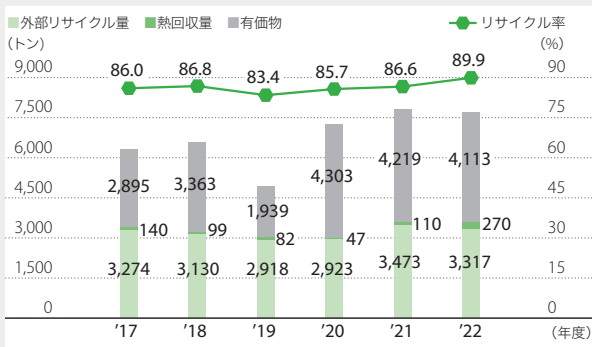


#### 住友化学および国内グループ会社

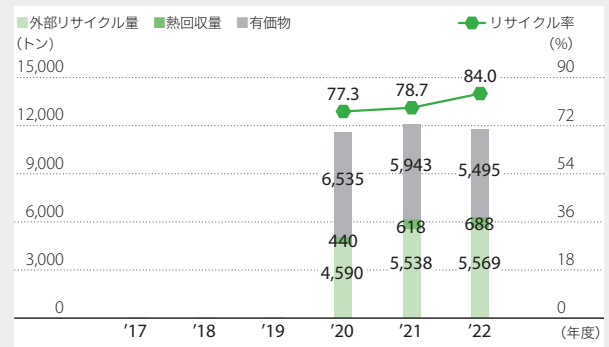


### 廃プラスチック全体の再資源化、再利用化(有価物、熱回収を含む)の実績※2

#### 住友化学



#### 住友化学および国内グループ会社



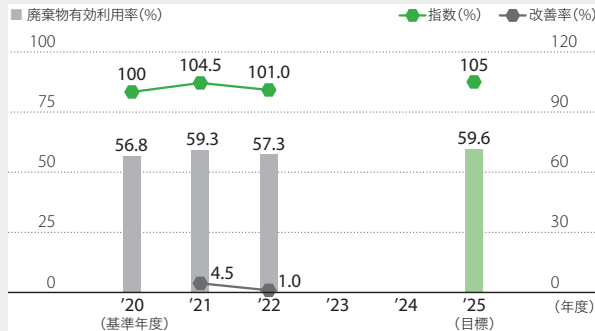
※1 廃棄物再資源化、再利用化(有価物、熱回収を含む)量：外部リサイクル量+外部熱回収量+有価物量  
 廃棄物再資源化、再利用化(有価物、熱回収を含む)率：(外部リサイクル量+外部熱回収量+有価物量)/(排出量+有価物量)

※2 廃プラスチック再資源化、再利用化(有価物、熱回収を含む)量：外部リサイクル量+外部熱回収量+有価物量  
 廃プラスチック再資源化、再利用化(有価物、熱回収を含む)率：(外部リサイクル量+外部熱回収量+有価物量)/(排出量+有価物量)



### 環境保安全管理目標の共有化 (国内)

#### ■ 廃棄物有効利用率※1 (2020=100)



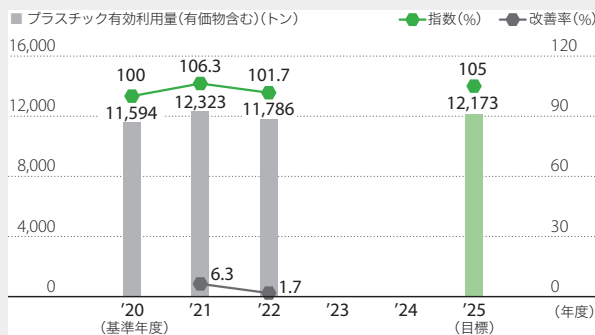
#### 廃棄物有効利用率の改善

**目標** 2025年度までに、2020年度比5%以上の改善

**実績** 2022年度は2020年度比1.0%改善し、目標を達成

※1 廃棄物有効利用率 =  $\frac{((内部再利用 \cdot 再使用量 + 内部熱回収量) + (外部再利用 \cdot 再使用量 + 外部熱回収量))}{廃棄物発生量} \times 100$

#### ■ プラスチック有効利用量 (有価物含む) ※2 (2020=100)



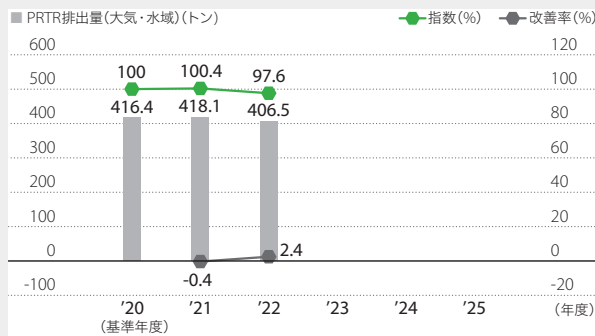
#### プラスチック有効利用量の改善

**目標** 2025年度までに、2020年度比5%以上の改善

**実績** 2022年度は2020年度比1.7%増加し、目標を達成

※2 プラスチック有効利用量 (有価物含む) = 有価物量 + (内部再利用・再使用量 + 内部熱回収量) + (外部再利用・再使用量 + 外部熱回収量)

#### ■ PRTR対象物質排出量 (大気・水域)・同指数 (2020=100)



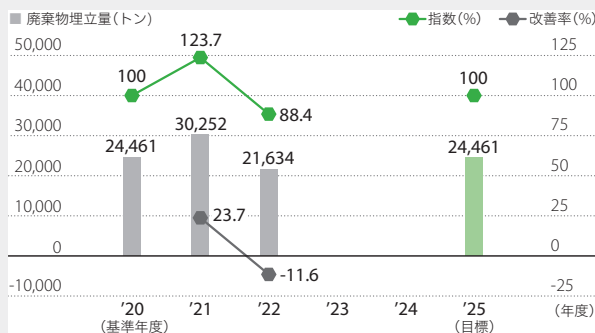
#### PRTR対象物質排出量の削減

**目標** 2020年度の排出量以下の水準を維持 (目標年度2022年度) ※

**実績** 2022年度は2020年度比2.4%削減し、目標を達成

※ 2023年度以降 (改正後) は新たに目標を定める

#### ■ 廃棄物埋立量・同指数 (2020=100)



#### 廃棄物埋立量の削減

**目標** 2020年度の廃棄物埋立量以下の水準を維持

**実績** 2022年度は2020年度比11.6%削減し、目標を達成

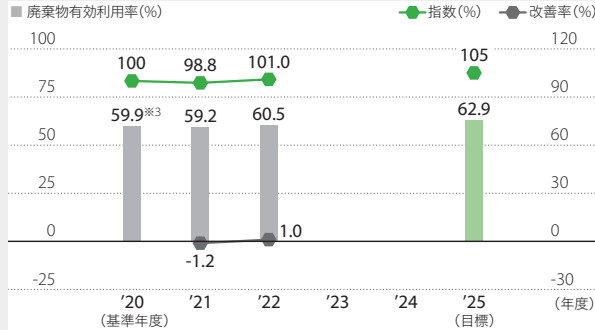
(注) 集計対象は、住友化学および国内グループ会社の以下17社

- 住化加工紙株式会社、住化カラー株式会社、住化プラスチック株式会社、日本エイアンドエル株式会社、朝日化学工業株式会社、株式会社セラテック、サンテラ株式会社、住化アグリ製造株式会社、住化アッセンブリーテクノ株式会社、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社、住化農業資材株式会社、日本メジフィジックス株式会社、住友共同電力株式会社、エスエヌ化成株式会社、住化ポリカーボネート株式会社、株式会社サンリッツ、住化宏和テック株式会社

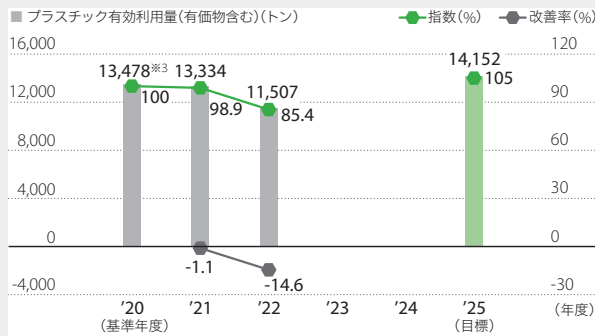


### 環境保安全管理目標の共有化 (海外)

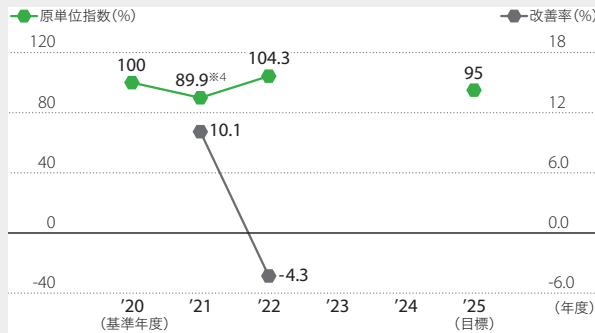
#### ■ 廃棄物有効利用率※1 (2020=100)



#### ■ プラスチック有効利用量 (有価物含む)※2 (2020=100)



#### ■ 水使用原単位指数 (2020=100)



(注) 集計対象は、海外グループ会社の以下30社

- シンガポール ・ The Polyolefin Company (Singapore) Pte.Ltd. ・ Sumitomo Chemical Asia Pte Ltd (MMA&S-SBR)
- タイ ・ Sumipex (Thailand) Co., Ltd. ・ Bara Chemical Co., Ltd. ・ Sumika Polymer Compounds (Thailand) Co., Ltd.
- ベトナム ・ Sumika Electronic Materials Vietnam Co., Ltd.
- 中国 ・ Dalian Sumika Chemphy Chemical Co., Ltd. ・ Sumika Electronic Materials (Wuxi) Co., Ltd.
- ・ Sumika Electronic Materials (Hefei) Co., Ltd. ・ Sumika Huabei Electronic Materials (Beijing) Co., Ltd.
- ・ Sumika Electronic Materials (Xi'an) Co., Ltd. ・ Zhuhai Sumika Polymer Compounds Co., Ltd.
- ・ Dalian Sumika Jingang Chemicals Co., Ltd. ・ Sumika Electronic Materials (Changzhou) Co., Ltd.
- ・ Xuyou Electronic Materials (Wuxi) Co., Ltd. ・ Sumika Electronic Materials (Chongqing) Co., Ltd.
- 台湾 ・ Sumika Technology Co., Ltd. ・ Sumipex Techsheet Co., Ltd.
- インド ・ Sumika Polymer Compounds India Co., Ltd.
- 韓国 ・ Dongwoo Fine-Chem Co., Ltd. ・ SSLM Co., Ltd.
- オーストラリア ・ Botanical Resources Australia Manufacturing Services Pty Ltd. ・ Botanical Resources Australia Agricultural Services Pty Ltd.
- 米国 ・ Sumitomo Chemical Advanced Technologies LLC ・ McLaughlin Gormley King Company ・ Valent BioSciences LLC
- ・ Sumika Polymer North America LLC
- 英国 ・ Sumika Polymer Compounds UK Co., Ltd.
- トルコ ・ Sumika Polymer Compounds Turkey Co., Ltd.
- フランス ・ Sumika Polymer Compounds France Co., Ltd.

※3 精査したため、2020年度に遡及してデータを修正

※4 精査したため、2021年度に遡及してデータを修正

#### 廃棄物有効利用率の改善

**目標** 2025年度までに、2020年度比5%以上の改善

**実績** 2022年度は2020年度比1.0%改善し、目標を達成

※1 廃棄物有効利用率= {(内部再利用・再使用量+内部熱回収量) + (外部再利用・再使用量+外部熱回収量)} / 廃棄物発生量 × 100

#### プラスチック有効利用量の改善

**目標** 2025年度までに、2020年度比5%以上の改善

**実績** 2022年度は2020年度比14.6%悪化し、目標は未達

※2 プラスチック有効利用量 (有価物含む)=有価物量 + (内部再利用・再使用量 + 内部熱回収量) + (外部再利用・再使用量 + 外部熱回収量)

#### 水使用原単位指数の改善

**目標** 年平均1%以上の水使用原単位を改善

**実績** 2022年度は2020年度比4.3%悪化し、目標は未達



## 環境マネジメントシステム

1997～2001年にかけて、全工場でISO14001(1996年版)の認証取得を完了しました。

その後、取得した認証が途切れることがないように、継続して移行審査を受審し、新規格での認証登録をしています。

### ■ ISO14001 認証取得状況

#### 1. 住友化学(取得率は100%)

工場名	登録番号	有効期限
愛媛工場(大江工場を含む)	JCQA-E-0018	2025年 4月12日
千葉工場(サイオクス 千葉事業所を含む)	(KHK-)97ER・004	2024年 6月25日
大阪工場	JQA-E-90072	2024年11月27日
大分工場(岐阜プラント)	JCQA-E-0206	2024年12月24日
大分工場(岡山プラント)	JCQA-E-0218	2025年 1月21日
大分工場	JQA-E-90152	2025年 3月30日
三沢工場	JQA-EM0355	2025年12月12日

#### 2. 国内グループ会社

会社名	登録番号	有効期限
住化加工紙株式会社	JCQA-E-0532	2025年 1月12日
住化カラー株式会社	JUSE-EG-680	2024年 5月 8日
日本エイアンドエル株式会社(愛媛工場)	ISO14001-0076790	2025年 1月 3日
日本エイアンドエル株式会社(千葉工場)	(KHK-)97ER・004	2024年 6月25日
朝日化学工業株式会社	JUSE-EG-717	2024年 2月26日
株式会社セラテック	JCQA-E-0018	2025年 4月12日
住化アッセンブリーテクノ株式会社	JCQA-E-0018	2025年 4月12日
住化アグロ製造株式会社(愛媛肥料工場)	JCQA-E-0018	2025年 4月12日
住化アグロ製造株式会社(その他工場)	13ER・925	2024年 8月 5日
広栄化学株式会社	JCQA-E-0969	2023年 3月11日
田岡化学工業株式会社(愛媛工場)	JCQA-E-0018	2025年 4月12日
田岡化学工業株式会社(淀川工場)	JQA-EM3938	2024年11月27日
株式会社田中化学研究所	4526844	2023年 7月25日
住友ファーマ(鈴鹿工場)	00ER-094	2024年12月21日
住友ファーマ(大分工場)	JQA-E-90152	2025年 3月30日
住化ポリカーボネート株式会社	JCQA-E-0436	2023年12月23日
株式会社サンリッツ	JMAQA-E105	2024年 4月26日
住化宏和テック株式会社	EMS 601582	2025年12月26日



3. 海外グループ会社

会社名	登録番号	有効期限
Bara Chemical Co., Ltd.	24120907002	2024年 8月 29日
SSLM Co., Ltd.	EAC-06178	2024年 5月 7日
Sumitomo Chemical India Private Limited (Tarapur plant)	IND.23.5072/IM/U	2026年 4月 2日
Sumitomo Chemical India Private Limited (Vapi plant)	EMS 740097	2024年 3月 9日
Sumitomo Chemical India Private Limited (Bhavnaga Plant)	99 104 00704/02	2024年10月10日
Sumitomo Chemical India Private Limited (Gajod Plant)	99 104 00704/03	2024年10月10日
Sumitomo Chemical India Private Limited (Silvassa Plant)	99 104 00704/04	2024年10月10日
Sumitomo Chemical Advanced Technologies LLC	43631-2008-AE-USA-ANAB	2023年 6月 2日
Sumika Technology Co., Ltd.	EMS 89814	2024年12月26日
Dongwoo Fine-Chem Co., Ltd. (Pyeongtaek)	EAC-06003	2024年 7月 9日
Dongwoo Fine-Chem Co., Ltd. (Iksan)	KR15/02363	2023年 7月 14日
Dongwoo Fine-Chem Co., Ltd. (Samki)	KR20/81826429	2025年 8月 22日
Sumika Electronic Materials (Xi'an) Co., Ltd.	CN15/10718	2024年 9月 8日
Sumika Huabei Electronic Materials (Beijing) Co., Ltd.	19919E00003ROM	2025年 1月 3日
Sumika Electronic Materials (Hefei) Co., Ltd.	268157-2018-AE-RGC-RvA	2024年 8月 24日
Sumika Electronic Materials (Shanghai) Co., Ltd.	11721EU0025-07 R1S	2024年 8月 21日
Sumika Electronic Materials (Wuxi) Co., Ltd.	64188-2009-AE-RCG-RVA	2024年10月30日
Sumika Electronic Materials (Changzhou) Co., Ltd.	CN20/10228	2023年 5月 19日
XUYOU Electronic Materials (Wuxi) Co., Ltd.	00220E34370ROM	2023年12月24日
Sumika Electronic Materials (Chongqing) Co., Ltd.	CN15/21719	2024年12月 6日
Sumika Polymer Compounds (Thailand) Co., Ltd.	66 104 130035	2025年 9月 9日
Sumipex (Thailand) Co., Ltd.	TH10/4097	2023年11月30日
Sumitomo Chemical Asia Pte Ltd (MMA plant)	10369744	2024年 6月 30日
Sumitomo Chemical Asia Pte Ltd (S-SBR plant)	SCS 102718EI	2024年 9月 8日
The Polyolefin Company (Singapore) Pte. Ltd.	SG05/00847	2026年 5月 14日
Zhuhai Sumika Polymer Compounds Co., Ltd.	CN13/30779	2025年 8月 19日
Sumika Polymer Compounds Dalian Co., Ltd.	CN14/10103	2026年 3月 25日

(注) 調査は年に1回実施しており、2023年3月31日の調査結果に基づく

エネルギーマネジメントシステム

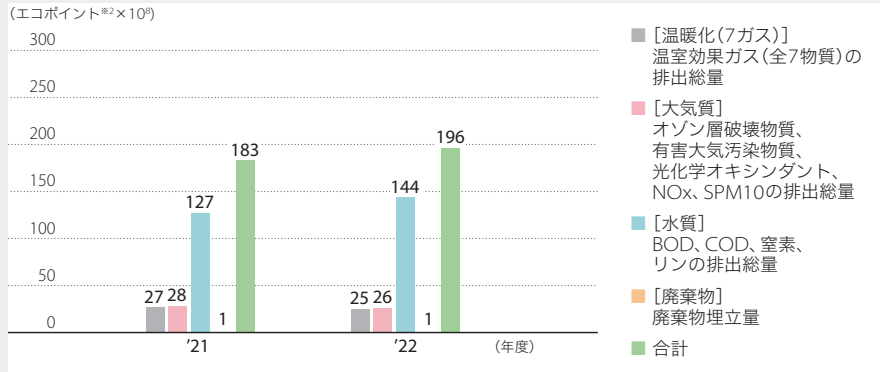
■ ISO50001 認証取得状況

工場名	登録番号	有効期限
Dongwoo Fine-Chem Co., Ltd. (Pyeongtaek)	EN-0632901	2025年10月13日



## 環境効率指標および環境管理会計手法の実用化検討

### ■ JEPIX<sup>※1</sup>による環境負荷量の内訳(住友化学)



### JEPIXによる企業単位での環境影響評価

経営戦略指標としての有効性評価を目的に、2022年度もJEPIX手法での環境影響評価を行い、解析を継続しています。

### LIME<sup>※3</sup>による製品別の環境影響評価

LCA<sup>※4</sup>データの社内外での実践的な活用を目的に、一般社団法人産業環境管理協会のLCAソフト(MiLCA)を利用して、主要な製品についてLIME手法での環境影響評価を行っています。

### MFCA<sup>※5</sup>の試行評価

MFCA手法の幅広い活用に向け、とりわけエネルギーと資源のロスに焦点を当て、これらのロスを最小限に抑えるコスト低減と、環境負荷の低減を同時に実現するための(重要な気付きを与える)ツールとしての有効性評価、さらには方法・手順の簡便化・標準化に向けた検討を続けています。

- ※1 JEPIX(Environmental Policy Priorities Index for Japan) :  
環境政策優先度指数日本版のことで、スイスの環境希少性(Eco Scarcity)手法を起源とする環境影響を統一的に単一指標(エコポイント)で評価する手法。目標(法律、環境政策など)と実際の状態との距離(乖離状態)を、物質の排出量データに基づいて評価する
- ※2 エコポイント :  
環境統合負荷量を量る指標。エコポイントの数値が小さいほど、環境負荷が小さいことを意味する
- ※3 LIME(Life-cycle Impact assessment Method based on Endpoint modeling) :  
日本版被害算定型影響評価手法。日本の環境条件を基礎とした日本が開発したライフサイクル影響評価手法
- ※4 LCA(Life Cycle Assessment) :  
製品やサービスのライフサイクルにおける環境影響評価手法の一つ
- ※5 MFCA(Material Flow Cost Accounting) :  
環境会計の手法の一つで、製造プロセスにおけるエネルギーや資源のロスに対して投入した原材料費、加工費、電力・燃料費などを把握して、コスト評価を行うもの